

 ユシロ化学工業株式会社

第90期  
中間報告書

2022年4月1日 — 2022年9月30日

*The Way Of Mutual Progress*

証券コード:5013

## 時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

### The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は70有余年の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

### 企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

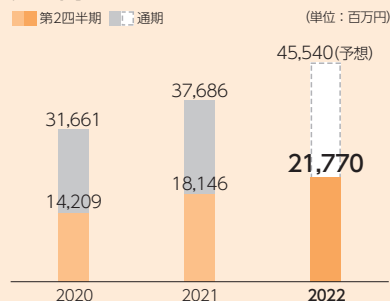
さて、当社第90期第2四半期(中間期)の事業の概況についてご報告申し上げます。



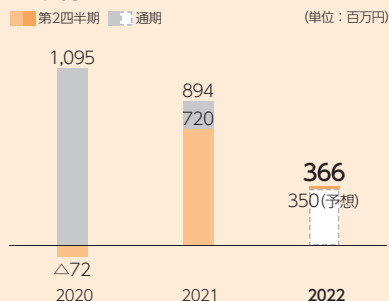
代表取締役社長  
有坂 昌規

## 連結財務ハイライト

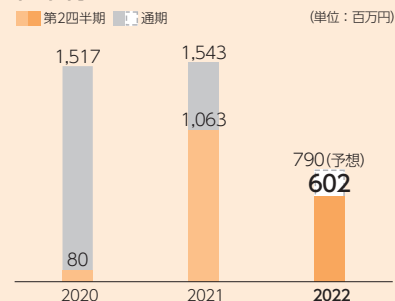
### 売上高



### 営業利益



### 経常利益



## 事業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ問題の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、供給面の制約など、先行き不透明な状況が続きました。また日本経済においても、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動正常化への動きが見られるものの、物価の上昇、急激な円安の進行など、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況下、販売面においては、主要顧客である自動車メーカーの国内外での生産回復が続いておりますが、半導体の供給不足等の影響を受け、自動車生産台数は本格的な回復には至っておりません。利益面においては、原材料価格や物流費の高騰が継続しており、価格転嫁をはじめ、原価低減や経費節減による利益改善を進めていますが、依然として厳しい事業環境が続いております。

以上の結果、売上高は前年同期比20.0%増の21,770百万円となりましたが、営業利益は前年同期比49.2%減の366百万円、経常利益は前年同期比43.3%減の602百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比86.7%減の104百万円となりました。

## 利益配分に関する基本方針 及び当期の配当

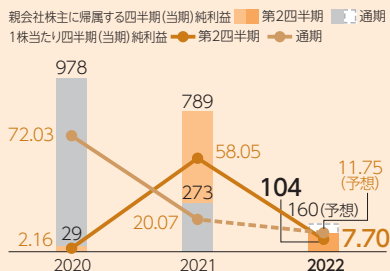
企業価値向上と持続的な成長に繋がる投資を優先的に実行することが結果としてステークホルダー共通の利益に資する考えに加え、株主に対する利益還元についても経営の重要施策とし、安定的・持続的に配当を行うことを方針とし配当性向を30%以上とします。

中間配当金につきましては、2023年3月期第2四半期業績を踏まえ、10円とすることを決議いたしました。期末配当金につきましては10円とし、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて20円となる予定であります。

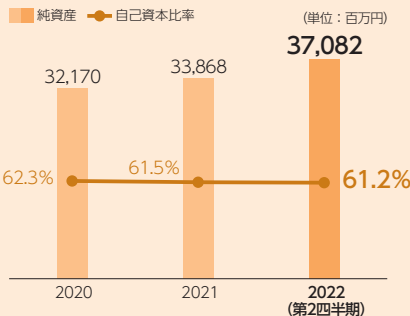
### ▶▶ 2023年3月期連結業績予想

	当期予想	前年実績
売上高	45,540百万円	37,686百万円
営業利益	350百万円	894百万円
経常利益	790百万円	1,543百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	160百万円	273百万円
1株当たり当期純利益	11.75円	20.07円
年間配当金	20円	48円

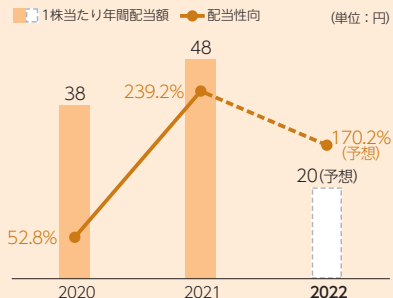
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益/ 1株当たり四半期(当期)純利益



### 純資産/自己資本比率



### 1株当たり年間配当額/配当性向



# セグメント情報 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)

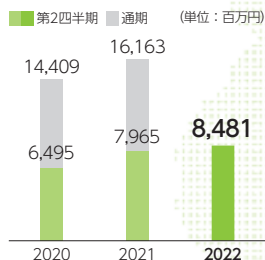
## セグメント ハイライト

各セグメントとも前年同期と比較して増収となりましたが、南北アメリカ以外のセグメント

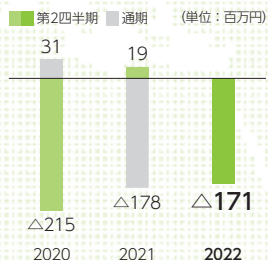


販売価格の改定を進めたことにより増収となりましたが、それ以上に原材料価格の高騰の影響が大きく営業損失となりました。

#### 売上高



#### セグメント利益(営業利益)

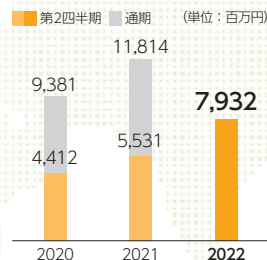


- 連結子会社**
- ユシロ運送株式会社
  - ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
  - 日本シー・ビー・ケミカル株式会社

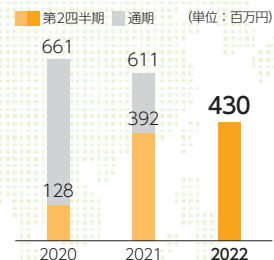


一部拠点における顧客の稼働率低下の影響はありますが、クオリケムInc.及びブラジルにおける販売が好調であり増収・増益となりました。

#### 売上高



#### セグメント利益(営業利益)



- 連結子会社**
- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc.[米国]
  - クオリケム Inc.[米国]
  - ユシロドブラジルインダストリアケミカルLtda.[ブラジル]
  - ユシロメキシコS.A. de C.V.[メキシコ]

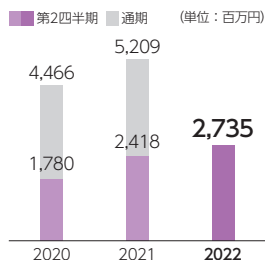
持分法適用関連会社 …………… 汎宇化学工業株式会社(韓国) 株式会社汎宇(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

においては原材料価格高騰の影響が大きく、前年同期と比較して減益となりました。

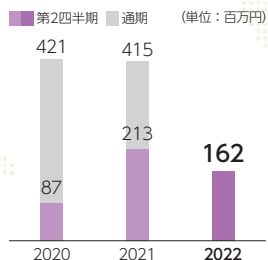


ゼロコロナ政策による活動制限の中でも販売は堅調に推移し増収となりましたが、原材料価格の高騰等により売上原価率が上昇しており減益となりました。

### 売上高



### セグメント利益(営業利益)



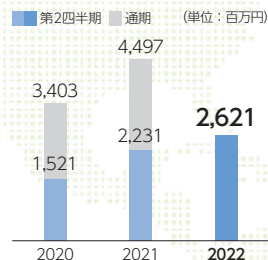
#### 連結子会社

- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]
- 啓東尤希路化学工業有限公司[中国]

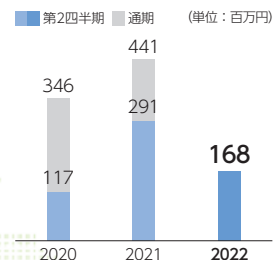


各拠点において販売は回復基調にあり増収となりましたが、原料価格上昇分の価格転嫁が遅れている拠点もあり全体として減益となりました。

### 売上高



### セグメント利益(営業利益)



#### 連結子会社

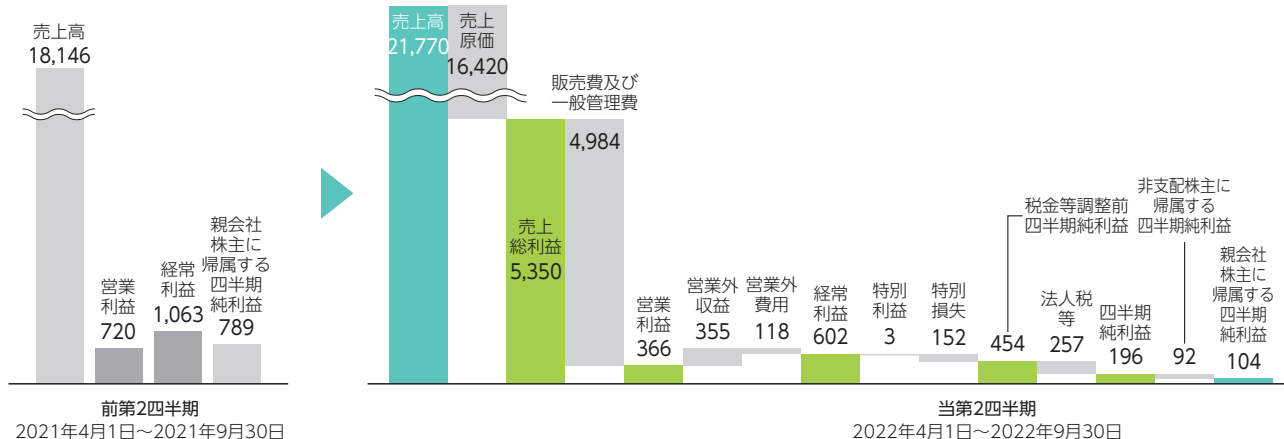
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- サイラムシー・ビー・ケミカル Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

# 連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

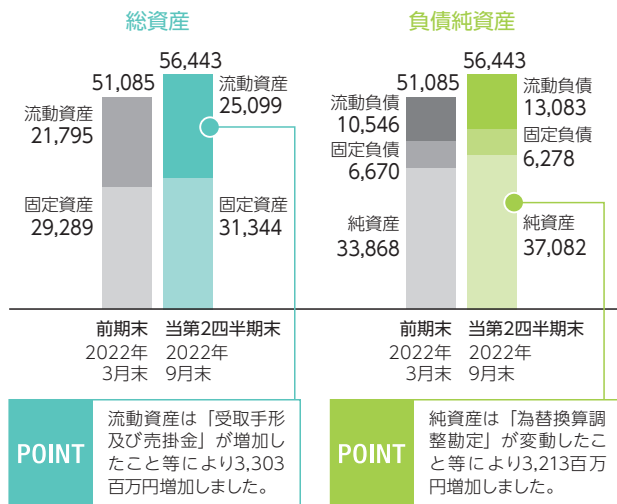
## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



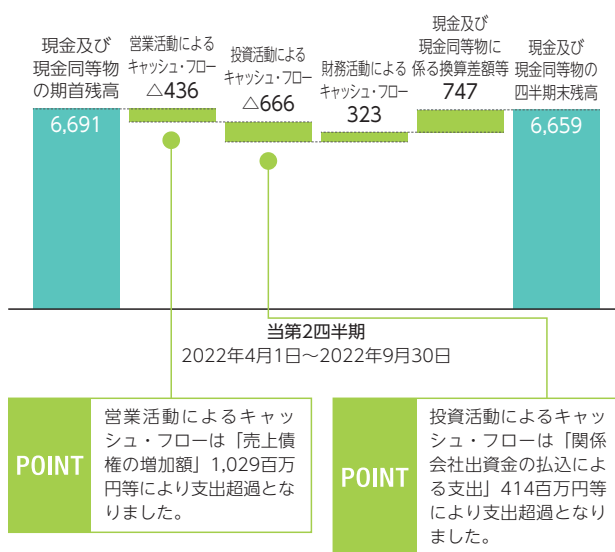
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)





# 会社概要・株式の状況 (2022年9月30日現在)

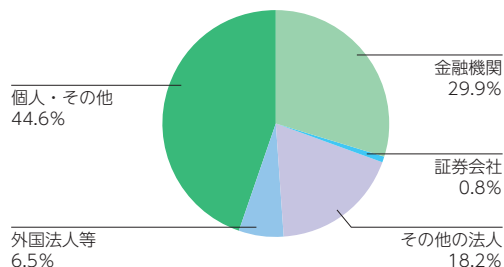
## ■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	<a href="https://www.yushiro.co.jp/">https://www.yushiro.co.jp/</a>
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	319名(連結975名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品  ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	4,848名

### 所有者別株式分布状況



## ■ 役員

代表取締役社長	有坂 昌規
常務取締役	高橋 誠司
取締役	小林 一重
取締役	高倉 一利
取締役*	中野 雅文
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	杉山 敦子(現姓 松本)
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

\*は社外取締役です。

## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,285	9.44
日本生命保険相互会社	1,057	7.76
ユシロ化学工業取引先持株会	989	7.27
株式会社三井住友銀行	622	4.57
スズキ株式会社	549	4.03
ユシロ化学工業従業員持株会	462	3.39
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	446	3.28
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.32
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
ビービーエイチ ボストン フォー ノムラ ジャパン スモーカー キャピタライゼーション ファンド 620065	267	1.96

\*当社は、自己株式290千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="https://www.yushiro.co.jp/">https://www.yushiro.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### ○住所変更、単元未満株式の買取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。

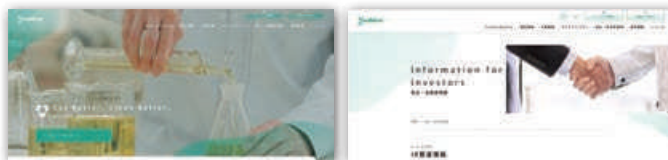
本件に関するお問い合わせ先は、左記株主名簿管理人となります。

### ○未払い配当金の支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社の事業をよりご理解いただけるよう、事業内容に加え、技術情報、IRなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。



ユシロ化学工業

検索

<https://www.yushiro.co.jp/>



### 株主総会資料電子提供制度に関するご案内

改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が創設され、株主様が、一定事項を記載した株主総会資料を書面で受領することを希望する場合は、株主総会の基準日までに、口座を開設している証券会社又は株主名簿管理人を通じて書面交付請求の請求の実施いただくことになりました。当社では、2023年6月開催予定の定時株主総会から電子提供制度が適用されることとなりますが、同総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、議決権を有する株主様に、同一の株主総会資料を送付する予定です。



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。